胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術の施設基準に係る届出書添付書類

1 届出種別							
• 新規届出	新規届出(実績期間		月	~	年	月)	
・ 再度の届出	台(実績期間	年	月	~	年	月)	
2 標榜診療科(施設基準に係る標榜科名を記入すること。)							
科							
3 当該手術を担当する診療科の常勤医師の氏名等							
常勤医師の氏名		勤務問	勤務時間		診療科名(当該手術を担当する科名)		
		時間				科	
		時間				科	
		時間				科	
		時間				科	
4 麻酔科標榜医の氏名							
5 当該療法を術者として又は補助を行う医師として 10 例(このうち 5 例は術者として実施して							
いるものに限る。) 以上実施した経験及び直視下心房中隔欠損閉鎖術を術者として 20 例以上実 施した経験を有する常勤の心臓血管外科医の氏名等							
		心臓血管外		- 当該手術の経験症例数			
常勤医師の氏名	勤務時間	科の経験年	()内は、うち術者として行った症例数				
		数	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術 直視下心房中隔欠損閉				房中隔欠損閉鎖術
	時間	ب			例		例
		年	(例)	(例)
	時間	年			例		例
	H4 [日]	+	(例)	(例)
	時間	年			例		例
	h4j目j	+	(例)	(例)
6 当該保険医療機関における下記の手術の実施症例数							
(1) 5年間における直視下又は胸腔鏡下の心房中隔欠損閉鎖術(10例以上) 例							
(2)区分番号「K552」から「K605—4」までに掲げる手術							
(経皮的手術、区分番号「K591」、「K596」から「K602」までに掲げるもの							
及び2日目以降の補助人工心臓(植込型を含む)に係るものを除く。)							
7 緊急手術が可能な体制 (有・無)							

[記載上の注意]

- 1 「1」は、特掲診療料施設基準通知第2の4の(3)に定めるところによるものであること。
- 2 「3」及び「5」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間(休憩時間を除く労働時間)を記載すること。
- 3 「4」については、麻酔科標榜許可書の写しを添付すること。
- 4 「5」及び「6」については当該手術症例一覧(実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主 病名)を別添2の様式52により添付すること。